

読む力・書く力を鍛える授業「教養セミナー」



三重大学 教養教育院
教養セミナー部会
[URL] <https://www.ars.mie-u.ac.jp/subject/seminar/>

三重大学独自の授業

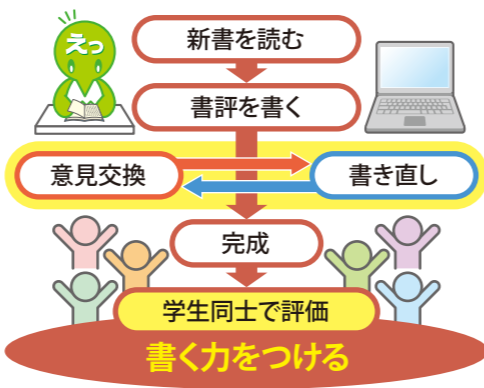
最近のある調査によれば、大学生は生活の中で本を読む機会が少ないそうです。また、卒業論文を担当する教員の間では、学生は本やネットに書いてあることを切り貼りするだけで、自分の言葉でまとめることができないという嘆きが出ていました。

そのため、教養教育院では、2015年に三重大学独自の科目である教養ワークショップ(2020年度からは教養セミナー)を立ち上げました。三重大学のすべての学生は、1年生の後期にこの科目を受講します。授業では、新書※を読み、約2,000字の書評を書きます。

※新書とは、縦長の形をした、手ごろな本のこと。



教養セミナーの流れ



学生同士で切磋琢磨

文章を書くことは個人の活動と思われがちです。しかしグループ活動を取り入れることで、切磋琢磨しながら効率よく力をつけることができます。

授業では、一度書いた原稿をお互いに読み合って意見交換を行い、何度も書き直して仕上げます。完成した書評は、学生同士で採点します。他の人の文章を読んで評価することで、ひるがえって自分の書く力をつけることができます。

ここで得た力は、レポートや卒業論文はもちろんのこと、ビジネスの現場で文章を書く際にも役立ちます。



各クラスの代表作を集めた優秀書評集

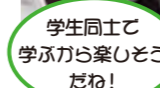


オンライン授業でもグループで活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本授業は2020年度にはオンラインで実施され、その中でグループ活動を行いました。2021年度は、受講生を二つにわけ、週ごとに対面授業とオンライン授業を入れ替えるハイブリッド形式で実施しています。一般のオンライン授業では、なかなか友だちが作りにくいという声が出ていましたが、この授業ではグループ活動を活発に行うので、コロナ禍での友だち作りにも役立っているようです。



2021年度後期、ハイブリッド授業の様子



学生からも人気の授業

受講した学生から、次のようなコメントが寄せられています。

読書の幅が広がった。

人に伝える文章を書くことの難しさが痛いほどわかりました。

班の読み合わせを通して自分の書く力がついてくのが実感できました。

学術的な文章を書く力が格段に伸びました。

積極的に人とコミュニケーションをとれる貴重な場でした。

これからも、受講生には楽しみながら文章を書く力を養って欲しいです。



真剣に授業を受けているね!



授業の様子